富士宮高校会議所「FHSC総選挙」

3代目会頭に遠藤祐太くん（宮西高2年）

当選『新たな風』原点回帰とさらなる飛躍』を公約に

選挙管理委員長の中村伸介さん（健壽会会長）から当選証書が遠藤祐太くん（宮西高2年）に手渡された

富士宮市内の5高校の生徒たちが連携して、高校生の視点と行動力で地域振興や地方創生・商店街再生・地域ビジネスの手法について実践を通して学び、アイデアを発信している「富士宮高校会議所」は17日、3代目の会頭を選ぶ第2回「FHSC総選挙」を行い、遠藤祐太くん（宮西高2年）を選んだ。

地域の人など一般市民の投票も呼びかけて行われた選挙には2人が立候補、11日から16日まで恵の期日前投票に続いて17日は事務局の西町レトロ館で、候補者による立会演説会、投票（選挙管理委員は地元の神立・貴船・羽衣・松山区の区長ら）が行われ、開票の結果、「『新たな風』原点回帰とさらなる飛躍』を公約スローガンにした遠藤祐太くんが当選、選挙管理委員長の中村伸介さん（健壽会会長）から当選証書が遠藤くんに手渡された。

3代目会頭に当選した遠藤くんの任期は来年4月から1年間で、来年2月に富士宮市長の認証を受ける。

一般の人も投票を行い

「戦争をさせない」、市民各層が訴えと呼びかけ

「安倍9条改悪NO！全国3000万人署名」

小長谷保弁護士が「安倍9条改悪の危うい内容」と題した講話で呼びかけ

富士宮で3万人署名を目標に 富士宮キックオフ集会スタート

「安倍9条改悪NO！富士宮市民アクション」の立ち上げも

「安倍9条改悪NO！富士宮アクション」、憲法を守ろう！富士宮市民の会、富士宮九条の会、富士宮ママの会の各市民団体は16日、「安倍9条改悪NO！全国3000万人署名、富士宮キックオフ集会」をフジヴィジョンで開き、「安倍9条改悪NO！全国3000万人署名」に呼応して富士宮で3万人の署名を来年5月3日の「憲法記念日」までに集めることを目標に運動をスタートした。

「キックオフ集会」では、小長谷保弁護士が「安倍9条改悪の危うい内容」と題した話で、「安部政権は憲法を都合のいい解釈で戦争ができる国に変えようとしている」と危機感を語り、改憲加速の現状を解説して質問にも答え、「安倍9条改悪はNO！」と運動推進を呼びかけた。

続いて市民各分野と呼びかけ人からの「戦争はさせない」の訴えでは、渡辺正寛さん（富士宮カトリック教会）、山口元美さん（学習塾経営）、篠原裕さん（高校社会科教師）、渡辺裕子さん（金曜アクションフ@富士宮）、福原勝保さん（全日本年金者組合富士宮支部事務局長）の5人が、それぞれに憲法改悪に突き進む自公安部政権や国民の意思に反した政治やマスコミ報道の姿勢など「現状の危機」について語り、「カトリックは政治に関わらないのではなく人類の平和を訴えている。人間性を尊重する」、「自分の意見をKも土もたちにも話して署名を求めていく」「戦争を起こした過去の誤りを繰り返すような動きは絶対に止めなければならない」と決意表明を行い、署名運動の推進を呼びかけた。

事務局から署名内容やアピール、活動計画の発表と報告が行われ、呼びかけ人名簿の充実などが提案され、「安倍9条改悪NO！富士宮市民アクション」を立ち上げることと方針も示され、市民3万人の署名を目標にした運動をスタートした。

フルートとハープのためのコンチェルトが客席魅了

富士宮室内オーケストラ結成35年クリスマスコンサート

演奏で客席を魅了した富士宮室内オーケストラ

富士宮室内オーケストラ（深澤貴美子代表、土屋義昭指揮、土屋一恵コンサートマスター）は17日、富士市民文化会館大ホールで「結成35年クリスマスコンサート」を催した。定期演奏会として、毎クリスマスコンサートを催してきた室内オーケストラは、中央や県内で活躍している音楽家や邦楽演奏家などをゲストに迎えて演奏を行い、幅広い表現世界を築き楽しみをひろげ、富士宮に「クラシック文化」を築いてきた。

結成35年を記念するコンサートには、フルートの川島祐子さん、ハープの遠藤充子さん・長谷川朋子さんをゲストに迎え、美しい弦楽の響きで席を埋めた観客を魅了した。

バッハの「G線上のアリア」で幕を開けたコンサートではモーツアルトの「フルートとハープのためのコンチチェルト」では川島さんのフルートと長谷川さんのハープが室内オーケストラのストリングスと重なり合ってひろがり、客席の大きな拍手を浴びた。

後半には、「スラウ舞曲」に続いて、ハープの斉藤さんと「ハープと共に、ダイスの瞑想曲・白鳥」を演奏、フィナーレには恒例の「クリスマスメドレー」（土屋義昭・編曲）を演奏して、会場をクリスマスの音楽で包み聴衆を楽しませた。

スケートリンク利用者20万人達成記念品贈りセレモニー

朝霧野外活動センター スケートリンク

県立朝霧野外活動センターのスケートリンク利用者が16日に20万人に達成した。同センターでは同日、スケートリンク利用者20万人達成を記念したセレモニーを開催した。

平成8年度に施設のリニューアルに合わせて、新規にオープンしたスケートリンクは、開設以来、毎年1万人前後の利用者があり、多くの人に親しまれ、16日に20万人利用を達成した。

達成記念セレモニーでは、同センターの齊藤祐幸副所長が「多くの方に利用いただき感謝申し上げます」と謝意を述べて、20万人目利用団体となった、いずれも富士宮のボーイスカウト第五団カブ隊と山宮子ども育成会リチャードクラブの代表に「20万人達成記念缶バッジ」を贈ってセレモニーを飾った。

スケートリンク20万人目の富士宮のボーイスカウト第5団カブ隊と山宮子ども育成会リチャードクラブの代表に「20万人達成記念缶バッチ」を贈った